第98号　2009年８月28日（金）

不登校を考える親の会
星の会
（代表）加嶋文哉
〒876-0814
佐伯市東町12-15
0972-24-1669
（E-mail）ichibanboshi@cts-net.ne.jp
（URL）http://www.hoshinokai.net/

■「星の会」は1994年10月22日に佐伯で生まれました。
■「星の会」は、不登校の子どもを持つ親の会です。親以外にも不登校について継続的に考えていきたい教師・個人も入会できます。
■「星の会」の例会は、大分・津久見で月１回開いています。
■「星の会」は年会費2,000円です。（1月が更新の月）
■（例会には参加できなくても）会報を読むだけの会員も大歓迎です。周りの方に拡げて下さい。

「今日は、お腹が痛いから学校を休もうかな…」を子どもが口にする時

簡単に不登校を選ぶ子どもはいません。右の手記は、中学生の時にいじめがきっかけで不登校をした青年が、当時をふり返って書いたものです。「これが、私の勇気の全てだった」の言葉でもわかるように、苦しさの限界に来た時に、子どもは「学校を休みたい」「お腹が痛い」「頭が痛い」という言葉を発します。それは、時として自らの存在をかけた意味を持つことがあります。否定をされたら生きていけないほどの意味を…。

この青年の場合は、いじめがきっかけです。しかし、これといって特別な理由がなくても、子どもは体と心が鉛のように重くなります。怠けているわけではないのですが、学校に行こうとすると吐きそうになるのです。

子どもが「今日は…」と言ってきた時、「どうして行きたくないの！」と責めてはいけませんが、「じゃあ、休んだら。」と簡単に済ませられるのも、子どもにしてみたらガッカリです。子どもが求めているのは、解決とは限りません。誰にも言えず（説明できず）に抱えてきたつらさを受けとめてほしいのです。どうするかは、例会で語り合いましょう。

…気づけば、私はクラスの子たちから完全に孤立していた。最初は悪いのは私なのだから仕方ない、自業自得だと思っていた。しかし、日がたつにつれ、その状況は悪化していき、誰からも相手にされない、目があってもそらされる。近づいていくとあからさまに避けられる…ここまで来ると、さすがの私も自分の存在自体を拒否されているようで締めつけられるような思いになった。そして、教室の後ろの方に目をやると、そこにはそんな私を見てうれしそうに顔を見合わせる主犯格の人たちがいた。（中略）

それでも、学校には毎日通っていた。親に言っても、何の解決にもならないし、心配をかけてはいけないと思ったからである。しかし、もう限界だった。どんなに待っても孤独な毎日は続き、誰にも声をかけれず、誰からも相手にされず、私にはどうしていいのか全くわからなかった。それでも、親には言えなかった。やっとの思いで出た言葉が「今日は、お腹が痛いし、休もうかな…。」だった。これが、私の勇気の全てだった。（後略）

星の会　ホームページができました。
http://www.hoshinokai.net/

9月例会

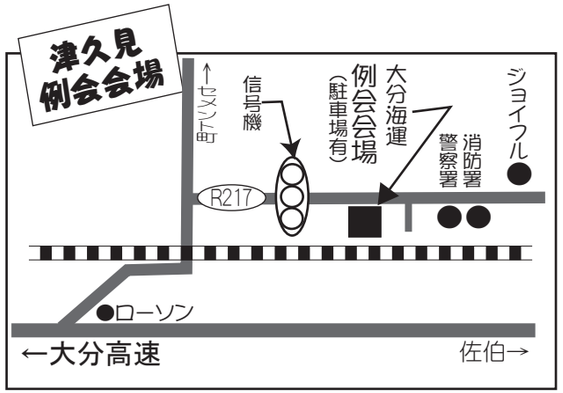
10月10日は、星の会が15周年となる例会です。
小さなイベントを開きますから、参加してください。

■第57回　大分例会　（通算333回）

○９月４日（金）　19：00～21：40
○大分コンパルホール　視聴覚室（４Ｆ）
○参加費　会員は無料／一般は300円

■第151回　津久見例会（通算334回）

○９月11日（金）　19：30～22：00
○大分海運の事務所（２階）
詳しくは、戸高さん（090-9792-7317）まで



次回予告

○大分例会　10月10日（土）14：00～17：00／コンパルホール
15周年記念例会として、大分でミニ講演をします。津久見の人もきて下さいね。
変更する場合があるので、会報で確認して下さい。

今年の会費を納めて下さい

年会費は **2000円です**

●会費は2009年の分だけで結構です。2008年以前のさかのぼっての徴収はしません。
◎振り込みは　大分信用金庫　渡町台支店（普）0228692　加嶋文哉　まで
振り込み手数料は、会員さんの方で負担をして下さい。
◎加嶋宛に封書で郵送して下さっても結構です。その際は、外からお金が見えない工夫をして下さいね。
●「星の会」をやめたい方は、加嶋まで電話かメールかハガキ・封書等でご連絡下さい。

会費を納めたかどうかはっきりしない方は…
封筒に貼られたラベルを見てください

876-0814
佐伯市東町12-15
加嶋文哉　様　0

名前につく「様」の後に
0　の数字がある方は、未納です。
-1　の数字がある方は、納めています。
尚、間違いがある場合は加嶋までご連絡を。